これからゼミ選びをされる方向けに久保ゼミの特徴などをご説明したいと思います。
久保ゼミでは毎週特定の課題図書の指定された章を通読して、持ち回りで特定の章のレジュメを作成し、それ以外の人は A4 一枚のコメントペーパーを作成しゼミ内で議論の素材にします。

レジュメやコメントペーパーを作成することで、各論題に対する理解度も高くなり他のゼミ生のレジュメやコメントを読むことで自らが持ちえない視点、思考に触れることが出来ます。ここがゼミの一番のメリットかつ面白いところです。
普段は友人と政治の話や特にデリケートとされる議論はしないと思いますが、ゼミでは率直に自分の意見を言うことができ、逆に他者の意見に共感したり感化されたりする点はゼミならではの経験ではないでしょうか。

久保ゼミでは指定される課題図書は最初は基礎的な内容、幅広い議論を網羅しているもの、徐々に各分野によりフォーカスしたものになっているため政治分野に対する理解を深めやすく、なおかつ難しいテーマや疑問点も先生による、丁寧な解説によりさらに深く学ぶことが出来ます。吉田知生（21JP1002）

久保ゼミでは指定された書籍を購入して各章の情報をまとめ、レポートを作り、それを基に皆でディスカッションを行います。このゼミで取り扱うのは主に選挙制度や議会制度を世界各国のシステムと比較する比較政治学です。

授業ではレポートの発表の後、それぞれテーマに合わせて各国の政治制度や、日本の政治制度などに関する疑問をゼミ内で共有し、それの答えを皆でディスカッションを行うことで導き出していきます。また社会の抱える問題に関して賛成派と反対派に分かれて議論を行い、

このゼミの魅力は一つの議題に関して全員が意見を共有することが出来る点であり、これによってゼミ生は自分の持つ意見が多数派か少数派か、自分と違う考えの人は何を根拠にそう考えているのか、独学では知ることのできない他者の政治に関する価値観を知り、多角的な視点を養うことが出来る点です。上田悠介（21JP1019）

私が久保ゼミを履修しようと思った理由は、私自身あまり政治学に詳しい方ではないのですが、過去のゼミ生の声から基礎的なところからしっかり学習でき、応用していく力を身に着けることができると感じたからです。授業の準備として主に毎週課題として出された本を３人が１章ずつ要約していき、他の人は３章本を読み、自分が思ったことや気になったこと、違憲のあることなどをワード一枚分のコメントにまとめるという作業をします。授業ではディスカッションがメインとなっていて、要約をした人が発表し、その章に関してみんなで意見を交換するという形となっています。また、一学期に２～３回自分たちでテーマを決めそのことについてディスカッションを行います。具体的には私たちは「SNS が選挙に与える影響」というテーマでディスカッションを行いました。ディスカッ

ションと聞くと堅苦しいイメージがわいてしまうかもしれませんが久保ゼミでは少人数でディスカッションを行うため気軽に発言することができます。私自身、久保ゼミを通してうやむやだった基礎が定着して政治学に対してより具体的な興味を持つことができました。ぜひ、久保ゼミを検討してみてください。蝦名宰（21JP1046）

ゼミでは、課題として政治に関する本を毎週読みます。そして、読んだ内容を代表者 3 名がレジュメにまとめ、他の人は内容についてのコメントシートを作成します。授業で取り扱う本の内容は、政治の中でもどの分野というのは決まっていないので、ゼミ生の興味関心に合わせて授業で取り扱う本の内容は変えてくれます。授業では読んできた本の内容についての意見を交換します。他人と意見を交換することで、自分だけでは持てなかった観点から物事を考えることができるので非常に有意義な時間を過ごせます。授業は全体的に穏やかな雰囲気でゆっくり進んでいくので、自発的に発言しやすい環境です。また、本を読んでいる中で分からないところや難しいことについては先生が適宜解説をしてくれるため、スムーズに理解しながら授業を進めていけます。今まで勉強してきた政治の知識をさらに発展させたい人から、これまで勉強はさぼりがちでこれから政治についてちゃんと勉強しようと思う人まで幅広くお勧めできるゼミです。 増田健吾（21jp1085）

久保ゼミでは、日本の政党や国会などの政治体制や政治制度に加え、他の国ではどうなっているのか、そして民主主義の本質とは何なのか、それに関連して、内戦はどうして起きるのかなど、政治学の広範な範囲を学ぶことができます。授業では、毎週指定された本の 3 章分を読んで、800 字程度のコメントや考えたことを書くか、一章分のレジュメを作って発表するという形態でやっています。そのため、授業で習った範囲をしっかりと吸収することができます。また、皆で論点を決めてそれについて話し合うということもできるので、自分が知りたい内容について他者の意見を聞くこともできます。総評して、難しすぎず、簡単すぎず、世界の政治や日本の政治について学ぶことができるゼミです。藤原悠人（ 21JP1088）

久保先生のゼミでは各国の政治制度について深く学ぶことが出来るようになります。新たな観点やそれぞれの特徴など主に各国で大切にされている政治常識や風潮についての考え方などを学ぶことができます。また、日本のある事象や問題についての議論などを深めることが出来るため、多くの学生にとって今必要な知識をアウトプットすることが可能になります。また懇親会なども行われ、自分が将来どのような職につきたいか、またこれからについての考え方を聞いてくれる OB の方や先輩も参加してくださるため、交流会だけではないところもとても魅力になります。ここで自分が思う久保先生のゼミのいいところとしてあげられるのが新たな観点の発見ができることです。一人一人に寄り添ってくださるため、自分が考えていることを素直に話すことが出来る機会ができます。また公務員を

目指す人にとってもOBとの話し合いや自分に優先した考え方などを話してくださるためこれからどのような行動を取れば良いか、どのような勉強をしたら良いか、面接の仕方のコツなどを教えてくださるところがとてもためになったと感じました。 安間駿（21JP1089）

久保ゼミは、具体的に2つのことを行います。1つ目は、本を読むことです。毎週3章分の本を読み、三人の人がそれぞれ各章を担当し、レジュメにまとめ、発表を行います。それ以外のゼミの生徒は、3章分読んだ感想やコメントなどを考えます。発表後、その章に関した、自分の考えや周りの生徒がどう考えているかなどを話し合います。2つ目は、ディスカッションです。ディスカッションは、自分たちで決めたテーマに関して、調べ、自分の考えを発表し合います。これらのような活動は、自分の意見を考えることも大事ですが、他社の意見を聞くことで、別の観点から物事を考えられるようになると感じました。また、私は、この2つの活動を経て、発言力や考える力、まとめる力などが得られると考えています。久保ゼミの主な内容は、比較政治学ですが、今まで政治にあまり関心を向けてこなかった人に適しているゼミです。春学期の本の内容は、政治の基礎的な部分が多く、1.2年生で習った授業を復習することができるような本ばかりで、比較政治学は、秋学期から学んでいいきます。今まで、集団内での発言力を鍛えたいと思っている人や今まで政治には関心なかったけれどこれから学びたいと思っている人などは久保ゼミに入ることをおすすめします。石井勇多（21jp1092）

通年で7冊ほどの指定された書籍を読んで、それに関する評論をします。評論を文章として書くことと、それを人前で発表することが求められるので、本を読む習慣や文章力、話す力など基本的な力が身につくと思います。書籍は、民主主義についてだったり、選挙制度や政党についてだったりを取り扱っているものを主としています。

このゼミは大人数でにぎやかな雰囲気というわけではないので、静かな環境で学びに集中したいという方にはおすすめです。反対に、楽しくてにぎやかな雰囲気でお話したいという方はやめておいた方が良いかもしれません。私の場合は勉強に集中したかったのでこのゼミが合っていたと思います。

学びに集中できる環境と言っても、先生が厳しいといったことはないので心配ないです。本の内容について発表する際も、過度に緊張するような環境でもないので安心して話せると思います。ある程度真剣に勉強したいけど、そこまでがっつり先生にご指導いただくのもなんか違うな…怖いな…という方には丁度良い雰囲気だと思います。もちろん質問したいことがあれば、どんどん聞ける環境です。菊池野乃香（21JP1125）

久保ゼミでは先生が指定した書籍を読んで、章ごとに誰かがレジュメを作成して発表し、その章について皆でディスカッションすることを毎週行っています。書籍の内容とし

ては、日本や海外の政治体制や選挙制、政党制など、政治に関わること書籍を読みます。読む書籍も比較的読みやすいものから、少し難しいものなど様々な書籍を読むので、2 年生の段階でまだ政治について疑問に持っている方や更に政治について学んでいきたいという方も入りやすいゼミだと思います。またディスカッションをすることによって、自分の意見だけでなく、他の人の考えも聞けるので今まで気付かなかった視点から政治を見ることができ、自分の知識や視野が大きく広がります。更に各章の発表後には必ず先生がフィードバックを行い、丁寧に解説して下さるので、疑問点などを残したまま終わることもなく、しっかりと理解できたうえで授業が終えることができます。政治体制や政治制度が好きな方は、特におすすめのゼミだと思います。皆さんとお会いできるのを楽しみにしています。酒井尊（21Jp1133）

久保ゼミでは主に一学期あたり 3〜4 冊の本を一回につき三章ずつ読み進めています。ゼミ生は交代で 1 章ずつレジュメを作って発表し、担当外の人はコメントを書いて、ゼミの時間に内容を確認しながら意見を交換するなどしています。議会や政党、選挙に関する様々な本を読むことができ、分からなかった部分や気になったところは丁寧に教えてもらえるので、政治学の知識がそこまでなくても安心して参加できると思います。また、本を読むほかにディスカッションを行うこともありますが、その議題はゼミ生が決められるので、ホットな話題を議題にすることも可能です。

春学期に読む本は先生が事前に選んだものを読みますが。秋学期の本は春学期の最後にある面談で挙がった意見から選んでもらえるため、絶対ではないものの、自分の関心のある分野を扱ってもらうことも出来ます。

議会や政党、選挙の分野に興味がある方や、政治学の基礎的な知識を固めたい方、プレゼンや本の要約などの力を身に付けたい方にオススメのゼミです。加藤沙桜里（21JP1139）

法学部政治学科三年の WANG ZHUOQUN です。久保ゼミでは、私たちが生活している日本の政治はもちろん、世の中のさまざまな国の政治制度などを勉強することができます。毎週、本を読んで、コメントを書きます。自分が担当する箇所をまとめてレジュメを作成し、みんなに発表します。発表が終わった後、みんなが自分の感想を言って、久保先生がみんなの質問を答えて、不十分なところを補足します。自分の感想だけでなく、他の人の意見を聞くことを通じて、みんなと感想を交換します。ただ本を読むことではなく、さまざまな社会問題について、2 回のディスカッションを行います。みんなが活発にディスカッションをして、テーマに対して、自分の賛成意見、反対意見とその原因を討論します。ディスカッションを通じて、新たな意見が生まれるかもしれません。政治に関する知識を深く勉強して、非常に有意義な時間を過ごすことができます。読みやすい本と理解しにくい本、両方ともありますので、自分の理解力を鍛えることができます。比較政治学、現代社会における政党や議会などを深く勉強したい人は迷わずに、ぜひ、久保ゼミに入っ

てください。WANG ZHUOQUN（21JP1143）

久保ゼミでは、基本的に読書。 先生が事前に決まっていた書籍を読み、毎回代表者 3 人がレジュメを作り、発表する。他の人が三章を読んだ内容をまとめる上で、自分なりのコメントだけを書けば良い(目安 1000 字)。発表した後、わからないところや疑問点などを討論し、また、その章の内容に関連する現象や問題なども話し合うことができる。読む本としては、比較政治、民主主義条件、日本議会、政党政治や各国の選挙制度を中心に学ぶことができるし、また、自分が読みたい、学びたい本や分野があれば、直接先生に言っていれば良い。読書のほか、学期中に 2- 3 回程度のディスカッションがあり、いわゆるディスカッションは、LINE グループで学生の投票によって選出された議題を授業で討論をする。わからないところや、質問はわかるまで丁寧に先生が丁寧に教えてくれる。それ以外、懇親会などのイベントがあるので、すごく雰囲気が良い授業だと思う。 専門的な知識を身につけることができるし、それに、楽しく単位を取れるので、ぜひ参加してください！！！＾＾YU CHENGYUE （21JP1151）

このゼミでは主に政治体制の構造や政治の現象について様々な文献を使い学ぶ事ができます。授業の流れとしては毎週三人が文献を一章ずつ担当し、レジュメを作成し、一人１０分から 15 分程度で発表を行います。発表以外の人は 3 人が担当する範囲についてコメントを書きます。まず、このゼミで身に着けられる力として発表する人もそうでない人も毎週文献を読まなければいけないので、確実に本の内容を理解する力が付きます。また、取り扱う本も読みやすいものから少し難しいものまであるので政治について基礎から発展の内容を学ぶ事ができます。もう一つの身に着けられる力として発表する力を挙げることができます。普段の生活で 15 分発表する機会はあまりないと思います。苦手意識がある人もいるかもしれませんが、そのような方にも発表、言い換えれば人に何かを伝える行為というものの練習にも役に立つと思います。

これらのことから政治学科で政治に深く取り組みたい、発表する力を磨きたいという方にはお勧めできるゼミだと考えます。小林優輝（21jp1155）